

はじめに

環境科学調査センターは、市民の健康、安全および快適な生活環境を守り、本市の良質な環境を確保するため、環境行政を科学的かつ技術的に支援する調査研究機関です。

昭和46年に公害研究所として発足し、その後、公害だけでなく幅広い環境問題に対応するため平成4年に環境科学研究所への名称変更を経て、平成24年には組織変更として公害総合監視センターを編入し、現在に至ります。現在地に新築移転して40年が経過しました。庁舎は古くなりましたが、刻々と変化する環境問題に対して常に新たな視点で調査研究を進めていきたいと考えています。

さて、平成30年の夏は全国的な連日の猛暑、数多くの台風の襲来や豪雨被害と気候変動が改めて注目を集めました。名古屋市でも過去最多36日の猛暑日を記録しています。地球温暖化防止をはじめとして環境を良好に保っていくためには環境学習が必要になりますし、できるだけ低年齢から始めることが重要になります。当センターでも、毎年夏休みに小学生を対象に環境学習講座を開催していますが、平成30年度は募集初日にほぼ定員に達し、うれしい悲鳴をあげることになりました。環境マインドを持つ人材の育成も当センターの仕事の一つと自覚し、これからも内容の充実に努めていきたいと思えます。

ここに、当センターにおける平成29年度の業務内容と調査研究の成果を年報として取りまとめました。ご高覧いただき、ご意見、ご指導いただければ幸いです。より良い環境を次世代の市民に引き継げるよう、職員一同研鑽に努めてまいりますので、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成30年12月

名古屋市環境科学調査センター
所長 中 井 昇